

令和2年度 学校評価報告書(目標設定)

	視点	4年間の目標 (令和2年度策定)	1年間の目標	取組の内容	
				具体的な方策	評価の観点
1	教育課程 学習指導	<p>① 主体的に学ぶ意欲を高め、確かな学力を育む教育課程編成に取り組み、これからの時代を逞しく生きていく力を身に付けさせる。</p> <p>② 多様な形態の学習機会を提供し、共通教科・科目の学習の充実及び、看護・医療・社会福祉の専門教育の充実を図り、将来の職に求められる教養を身に付けさせる。</p>	<p>①(1)共通教科、専門教科のバランスの取れた新教育課程の研究・編成を行う。</p> <p>(2)生徒が主体的に学ぶ授業への授業改善を行う。</p> <p>②ICTを利用した授業の作成、補習・課題等による学習機会の提供の工夫を行う。</p>	<p>①(1)各教科で教育課程を研究し、学校目標に沿った生徒の育成を目指した教育課程を作成する。</p> <p>(2)毎年行っている教員相互の授業見学や研究授業の工夫を図る。</p> <p>②Classi やGSuite等を使ったコンテンツの作成方法や充実を図る。</p>	<p>①(1)学校目標に沿った新教育課程の作成ができたか。</p> <p>(2)授業見学報告数が増加したか。</p> <p>②ICT が導入された授業の増加が図れたか</p>
2	生徒指導・支援	<p>① 部活動や行事日常的な生活指導を通して、社会規範を身に付け、責任感や連帯感を図り、自己実現に努力する姿勢を育てる。</p> <p>② 組織的な教育相談体制のもと、課題を抱える生徒の支援に取り組む中で、困難を乗り越える力の育成を図るとともに、安全・安心な学校生活を確保する。</p>	<p>①生徒の社会規範の意識を高めるために、挨拶・清掃・身だしなみの徹底をさせ、看護・福祉の社会的意義を理解させる。</p> <p>②いじめを防止し、生徒一人一人が安全・安心に生活できる環境づくりに努める。</p>	<p>①部活動や行事などを通して、問題解決に向けた話し合いや協働体験などにより、責任感や連帯感について考えさせる。</p> <p>②課題を抱える生徒の把握と個別理解を深める。</p>	<p>①日常生活の中でお互いを思いやる心や奉仕の心を高めることができたか。(生徒アンケート)</p> <p>②職員間で生徒の情報を共有し、支援の方針を立てることができたか。</p>
3	進路指導・支援	<p>① 社会に奉仕する心を育み、看護・医療・社会福祉などの分野における、社会の良き担い手として活躍できる人材を育成する。</p> <p>② 進路実現に向け自らのキャリア発達を意識できる、3年間を見通した進路指導の充実を図る。</p>	<p>①(1)ヒューマンサービスに従事する者としての人間力の向上と学力の向上を図る。</p> <p>①(2)授業で培った「看護の心」「福祉の心」を活かしたボランティアや体験活動の充実を図る。</p> <p>③ 進路のモデルを見つけ、キャリア形成のために必要な方向付けを行う。</p>	<p>①(1)オリエンテーションなどを通して、生徒の自発的な情報収集と自主的な進路選択をサポートする。授業・模擬試験・夏季講座等を通して、文章力、論理力を養う。</p> <p>①(2)共感力や想像力を磨くためのボランティアや体験活動への積極的な参加を促す。</p> <p>②進路にかかわる情報発信やガイダンス等で、各学年における取り組みを把握させ、計画的に取り組ませる。</p> <p>卒業生による進路相談で、学習の方法や進路選択の考え方を学び、自分の強みを活かして生きていく自信と目標を身につけさせる。</p>	<p>①(1)人間としての在り方生き方の指導を実践できたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・模擬試験の受験者数や長期休業中の取り組み状況。 ・進路状況。 <p>①(2)働くことや社会に奉仕することの喜びやそれによって得られる達成感を体得させられたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアや体験活動への参加者数。 <p>②進路実現に向けて努力する過程を指導、援助することが出来たか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各学年における進路希望調査と進路状況。 ・卒業生による進路相談の参加者数。
4	地域等との協働	<p>① 地域の期待に応え、地域に開かれた学校としての取り組みをさらに進め、協働と信頼に根ざした学校づくりを推進する。</p> <p>② 地域と連携した</p>	<p>①地域と連携し、生徒の委員会活動・部活動の発表や協働の機会を設け、地域貢献活動を通じ社会参画への意識を高める。</p> <p>②地域主催の防災訓練などに参加し、連携した防</p>	<p>①学校運営協議会からの助言を参考にし、部活動・委員会による地域発表会やボランティア活動を充実する。</p> <p>②周辺の自治会との連携を通して「看護の心」・</p>	<p>①発表回数、参加生徒の満足度、地域からの評価が向上したか。</p> <p>②(1)地域との連携を図れたか</p> <p>(2)防災訓練、DIG への参加回数、生徒・教員の参加人数・参加意欲が向上し、防災内容の共有がなされたか。</p>

	視点	4年間の目標 (令和2年度策定)	1年間の目標	取組の内容	
				具体的な方策	評価の観点
		防災体制の整備を促進し、社会参画の意識を醸成する。	災活動を実施する。	「福祉の心」という視点での防災意識を醸成する。	
5	学校管理 学校運営	<p>① 保護者や周辺地域に対して、本校の教育活動に対する理解を深化させる。</p> <p>② 情報管理の徹底を図り、さらなる校務処理の情報化を推進し、事故・不祥事の根絶を徹底する。</p>	<p>① 近隣の県施設とも連携を取り、相互の教育活動の理解を深め、地域・保護者に発信する。</p> <p>② 情報管理を含め、事故・不祥事が起きないよう、未然に防げる職場作りを図る。</p>	<p>① 生徒主体の学校説明会の実施と、近隣県施設との相互の行事参加を図る。</p> <p>② 事故防止会議を、職員からの積極的参加・提案で実施できるような雰囲気作りを行う。</p>	<p>① 学校説明会等の来校者へのアンケート結果で本校の特色が中学生などに理解されたか。</p> <p>② 事故防止会議が計画通り実施され、事故・不祥事をゼロにできたか。</p>